



## 第2期関西観光・文化振興計画（最終案）について

令和4年1月27日

広域観光・文化・スポーツ振興局

「関西観光・文化振興計画」（平成24年3月策定）については、令和4年3月をもって計画期間（10箇年）の満了を迎えることから、令和4年4月から令和9年3月までの5箇年を計画期間とする「第2期関西観光・文化振興計画」を策定する。

広域連合委員会での中間案報告以降の情勢の変化や、産業環境常任委員会、中間案に対するパブリックコメント、「新・関西観光・文化振興計画（仮称）策定委員会」等での意見を踏まえ、最終案を下記のとおりとする。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響や国際観光の回復の状況を踏まえ、戦略や取組みを見直す必要や新たな課題が生じた場合には、計画の見直しを行うものとする。

### 記

#### 1 中間案からの主な変更の概要

##### (1) 中間案報告以降の情勢の変化による変更

「大阪・関西万博」における関西広域連合パビリオンの出展や、「ワールドマスタースズゲームズ 2021 関西」の再延期を踏まえた戦略の柱の追加等

戦略1	文化をはじめとする多様な関西の魅力を活かした持続性の高い観光の推進
戦略2	関西の観光・文化分野におけるDXの促進
戦略3	多様な観光客への対応
戦略4	関西文化に親しむ機会の創出
戦略5	関西文化の次世代への保存・継承と発展
戦略6	「大阪・関西万博」等を活用した観光・文化の推進（追加）
戦略7	推進体制の確立・強化

##### (2) 策定委員会及びパブリックコメントでの意見等による変更

- ・ モーターサイクルツーリング（バイクでの旅行）による周遊観光促進の取組の追加
- ・ 国立公園や国定公園を活用した周遊観光促進の取組の追加 等

##### (3) 計画の名称案の決定

計画の名称案の「第2期関西観光・文化振興計画」への変更

#### 2 計画（最終案）概要 別添1のとおり

#### 3 最終案における主な変更点 別添2のとおり

#### 4 今後のスケジュール

令和4年2月12日 広域連合議会 全員協議会（議案事前説明）

3月5日 広域連合議会 3月定例会（最終案上程）

#### (参考) パブリックコメントの結果

- (1) 募集期間 令和3年11月4日（木）～11月30日（火）
- (2) 意見総数 25件



## 第 2 期関西観光・文化振興計画 最終案の概要

### I 計画策定の趣旨と期間

関西の観光・文化は、2022 年度の文化庁の関西移転、2025 年の「大阪・関西万博」の開催等を好機と捉え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響、持続可能な開発目標（SDGs）、DX などの時代の変化に対応する必要がある。関西広域連合では、観光、文化が互いをさらに高め合い、関西が一丸となって新たなステージへの成長につながるよう、国際観光振興及び文化振興の戦略を策定する。

計画期間は、令和 4（2022）年 4 月から令和 9（2027）年 3 月までの 5 年間とするが、新型コロナウイルス感染症の影響やインバウンドの回復の状況により戦略を見直す必要や新たな課題等が生じた場合は、計画の見直しを行う。

### II 関西の観光・文化をとりまく現状と課題

#### 観光・文化をとりまく現状

- (1) 国際観光の状況
- (2) 文化資源の集積と多様化
- (3) 文化庁の関西移転を契機とした新たな文化行政の推進
- (4) 「大阪・関西万博」等をはじめとする国際イベントの開催等
- (5) 観光・文化を取り巻く新たな潮流（サステナビリティ（持続可能性）、デジタル技術の進展等）
- (6) 新型コロナウイルス感染症の影響

#### これまでの取組 — 関西広域連合による前計画期間

（2012 年 4 月から 2022 年 3 月）の主な取組—

- (1) 広域観光の展開による関西への誘客
- (2) 官民が一体となった広域連携 DMO の取組の推進
- (3) 戦略的なプロモーションの展開
- (4) 外国人観光客等の受入を拡大するための観光基盤の整備
- (5) 関西文化の振興と国内外への魅力発信及び連携交流による関西文化の向上
- (6) 関西文化の次世代継承
- (7) 情報発信・連携交流支援・人づくりを支えるプラットフォームの活用
- (8) 文化庁の関西移転を見据えた新たな関西文化の振興
- (9) その他の取組

#### 観光・文化をとりまく課題

- (1) 関西を輝かせる地域文化等による持続性の高い観光の推進
- (2) 関西の観光・文化の魅力の更なる向上や DX の促進
- (3) 安心・安全に旅行できる受入環境整備と観光コンテンツの多様化
- (4) 文化庁の関西移転を契機とした文化観光の推進と文化に親しむ機会の創出
- (5) 文化の次世代への保存・継承と発展

### III 文化・観光を通じた関西の将来像

#### 新時代の文化・観光首都の創造

関西は、文化庁の関西移転、大阪・関西万博の開催などに象徴される新時代を迎えている。

新型コロナウイルス感染症の拡大により世界中が難局にある中、「文化や観光は、人々の精神を支える基本的、普遍的な価値を有し、SDGs が目指す未来を切り拓くもの」と捉え、世界の人々があこがれる、新しい時代の「文化・観光首都」である関西を創造していく。

### IV 将来像実現のための戦略

#### ■戦略 1 文化をはじめとする多様な関西の魅力を活かした持続性の高い観光の推進

観光客の分散化や一部観光地の過度な混雑の解消、観光・文化資源の保全により、観光客、地域住民、観光事業者がともに満足できる質の高い観光を実現するとともに、テーマ観光などに取り組み、関西への来訪者の周遊を促す。また、人材育成や災害時の情報提供など、安心・安全な旅行環境整備を推進する。

- ① 文化を活用した「KANSAI」ブランド力の向上と情報発信
- ② 文化財・生活文化等の観光資源化
- ③ 「歴史・伝統・文化」等による観光の推進
- ④ 観光に従事する人材の育成
- ⑤ 安心・安全な旅行環境の整備

#### ■戦略 2 関西の観光・文化分野における DX の促進

構成府県市等有する観光・文化に関わる各種データの共有・活用を検討するとともに、マーケティングや情報発信における DX を促進する。また、AR、VR 等の技術を活用し、観光・文化資源のコンテンツ化や交通便利性の向上を促進・支援する。

- ① 効果的なマーケティングの実施
- ② 新技術の活用
- ③ 交通アクセス等の利便性向上

#### ■戦略 3 多様な観光客への対応

誰もが安心して関西の観光を楽しむことができるよう、食や宗教、生活習慣などに対応できる環境の整備を図るとともに、多様なニーズや旅行スタイルに応じたコンテンツの創出に取り組む。また、社会潮流の変化に伴って新たに生まれる観光ニーズへの適切な対応にも努める。

- ① 生活習慣や文化の違い等に配慮した受入環境整備
- ② 多様なニーズへの対応強化

#### ■戦略 4 関西文化に親しむ機会の創出

関西にゆかりのある文化人の記念となる周年などの機会を活かした取組や、まちづくりに文化を積極的に活用する取組を支援することで関西文化に親しむ機会を創出する。また、地域の相互交流等による関西の文化力の向上を図る。

- ① 関西文化の振興と連携促進
- ② 連携交流による関西文化の一層の向上

#### ■戦略 5 関西文化の次世代への保存・継承と発展

子どもに文化体験の機会を提供し、文化を支える活動への啓発と次代の文化を担う人材育成を図る。また、アーティストへの効果的な支援情報の提供や他分野連携により、文化活動の支援・発展を図る。

- ① 関西文化の次世代を担う人材育成
- ② 関西の文化活動への支援

#### ■戦略 6 「大阪・関西万博」等を活用した観光・文化の推進

関西広域連合のパビリオンを観光・文化のゲートウェイとし、万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を通じて万博と関西各地が結ばれるよう、各地域の魅力を紹介し、関西広域の周遊を促進する。

また、万博の取組を通じた有形・無形のレガシーを活用し、万博後も持続性の高い観光の推進に努める。

- ① 「大阪・関西万博」参加者等に対する広域周遊の促進
- ② 「大阪・関西万博」に向けた環境整備等
- ③ 「大阪・関西万博」のレガシーの活用

#### ■戦略 7 推進体制の確立・強化

関係団体がそれぞれの強みを発揮し、役割分担しながら取組を進める。観光分野では大阪・関西万博の開催を見据えた国際観光を、文化分野では文化庁と連携した総合的・戦略的な文化振興策を推進する。

- ① 関西文化を支えるプラットフォームの活用
- ② 関西広域の国際観光推進
- ③ 関西広域連合の各分野との連携

### V 計画の目標

訪日外国人旅行者数や外国人旅行消費額などこれまでの指標に加え、質重視の観光指標の導入や人材育成など多方面から指標を検討する必要があるが、新型コロナウイルス感染症の影響やインバウンド観光の回復時期等が見通せないため、今後計画の見直しを行う際に、指標及び目標値を設定する。

#### インバウンド回復までの緊急対応

インバウンド観光の復活までは、国内観光の需要喚起に向けた情報発信等を実施する。特に在日外国人への情報提供をはじめ、その視点や影響力を活用した取組を推進する。インバウンド観光客の受入れ再開時には、感染防止対策などの情報発信のほか、広域周遊を促すキャンペーン事業の実施など、「ONE 関西」で取り組む。



## 第 2 期関西観光・文化振興計画（最終案）における主な変更点

頁	変更後の案文	中間案時点の案文
タイトル	第 2 期関西観光・文化振興計画 【計画期間：令和 4 年度～令和 8 年度】 最終案	新・関西観光・文化振興計画 (仮称)
7	Ⅱ 関西の観光・文化をとりまく現状と課題 1 現状 (4) 「大阪・関西万博」等をはじめとする国際イベントの開催等 令和 4 (2022) 年には、アジア初かつ初めての広域開催となる「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」の開催が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により再延期が決定された。	令和 4 (2022) 年は、アジア初かつ初めての広域開催となる「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」の開催が予定されている。
15	Ⅳ 将来像実現のための戦略 戦略 1 文化をはじめとする多様な関西の魅力を活かした持続性の高い観光の推進 (3) 「歴史・伝統・文化」等による観光の推進 取組項目を、「①地域資源の活用に関する取組」と「②「広域ルート」など広域周遊に関する取組」として小項目で区分け	(取組項目を小項目で区分け)
15	Ⅳ 将来像実現のための戦略 戦略 1 文化をはじめとする多様な関西の魅力を活かした持続性の高い観光の推進 (3) 「歴史・伝統・文化」等による観光の推進 ・ 関西の多種多様な資源を共通のテーマで結び、各地を巡る「テーマ別観光」を推進するとともに、同じテーマを持つ地域間による勉強会の開催など連携を進める。 (共通テーマ例) 「マンガ・アニメ文化」を追加	・ 関西の多種多様な資源を共通のテーマで結び、各地を巡る「テーマ別観光」を推進するとともに、同じテーマを持つ地域間による勉強会の開催など連携を進める。 (共通テーマ例) (省略)
15	戦略 1 文化をはじめとする多様な関西の魅力を活かした持続性の高い観光の推進 (3) 「歴史・伝統・文化」等による観光の推進 ・ 自動車やモーターサイクル等多様な交通手段によって、旅の移動手段も楽しむ周遊観光を促進するための情報発信を行う。	(取組を追加)
16	戦略 1 文化をはじめとする多様な関西の魅力を活かした持続性の高い観光の推進 (3) 「歴史・伝統・文化」等による観光の推進 ・ 国立公園や国定公園を活用した周遊観光を促進するための情報発信を行う。	(取組を追加)

19	<p><b>戦略6 「大阪・関西万博」等を活用した観光・文化の推進</b>      関西広域連合が出展する関西パビリオン(仮称)を『観光・文化のゲートウェイ』とし、「いのち輝く未来社会のデザイン」という万博のテーマを通じて万博と関西各地とが結ばれるよう、テーマを体感できる関西各地の魅力を万博会場で発信し、関西広域の周遊を促進する。また、「大阪・関西万博」の開催に向け、関西広域の周遊を促進できるよう環境整備に努める。</p> <p>また、万博での取組を一過性のものとせず、ハード・ソフト両面にわたる多面的な取組により創出される有形・無形の「レガシー」を活用し、万博後も持続性の高い観光の推進に努める。</p>	(戦略を追加)
19	<p><b>戦略6 「大阪・関西万博」等を活用した観光・文化の推進</b>  <b>(1)「大阪・関西万博」参加者等に対する広域周遊の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『観光・文化のゲートウェイ』である関西パビリオン(仮称)において、関西各地の歴史、伝統、自然との共生に根付いた文化や生活様式などを「いのち輝く未来社会のデザイン」という「大阪・関西万博」のテーマでつなぎ、その魅力を発信し、広域周遊を促進する。</li> <li>・ 「大阪・関西万博」の期間中に、MICE や祭り、文化財の特別公開、アーティスト・イン・レジデンスなど多様なイベント等の関西各地での実施を促進する。</li> <li>・ 関西に立地する、国等の公的施設、大学、民間企業等のミュージアムなどの文化施設等と連携の強化を図り、「関西文化の日」の充実、多言語による情報発信を行うほか、関西文化パスポートの発行を検討する。(再掲)</li> </ul>	(戦略を追加)
19	<p><b>戦略6 「大阪・関西万博」等を活用した観光・文化の推進</b>  <b>(2)「大阪・関西万博」に向けた環境整備等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「大阪・関西万博」に来訪される方々に関西各地への周遊を促すため、スマートフォンアプリや万博開催前に設置される関西広域連合のwebパビリオン等を活用し、国内外に向け、文化をはじめとする多様な関西の魅力発信を行う。</li> <li>・ 「関西文化.com」や「関西祭.com」等をリニューアルし、関西の文化施設や地域の祭り、文化財VRコンテンツ等の情報をライブラリー化し、国内外に発信する。(再掲)</li> <li>・ 「大阪・関西万博」に向け、交通事業者による空港・駅・バスターミナルなど交通アクセスの利便性の向上や広域的なMaaSの推進に関する取組、国等が進める関西の「海」のツーリズム化の取組に協力する。</li> <li>・ 「大阪・関西万博」の開催時には世界中から外国人が関西を訪れることを想定し、ハラール、ベジタリアン、ヴィーガンなど多様な食習慣を持つ外国人観光客等の受入環境整備を進めるとともに、礼拝場所の情報提供や観光案内標識等の多言語対応、ピクトグラムや地図の活用など、外国人観光客等にわかりやすい環境整備を進める。(再掲)</li> <li>・ 通訳案内士等について、更なるスキルアップに向けた研修を実施するとともに、文化など多様な観光資源に関する情報を提供する。(再掲)</li> </ul>	(戦略を追加)

20	<p><b>戦略6 「大阪・関西万博」等を活用した観光・文化の推進</b>  <b>(3)「大阪・関西万博」のレガシーの活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「大阪・関西万博」の開催に向けて整備される多様な交通インフラや周遊アプリなどを活用し、更なる関西広域の周遊を促進することで、関西各地の地域活性化を図る。</li> <li>「大阪・関西万博」開催中に関西を訪問した海外メディアとネットワークを構築し、効果的な情報発信を行う。</li> <li>今後開催されるワールドマスターズゲームズの参加者を、万博に向けて整備された広域周遊環境を活用し、関西各地への誘客につなげる。</li> </ul>	(戦略を追加)
21	<p><b>インバウンド回復までの緊急対応</b></p> <p>インバウンド観光が復活するまでは、構成府縣市や関西の交通機関等とも連携し、国内観光の需要喚起に向けた情報発信などを実施する。</p> <p>特に、日本で暮らす外国人は海外との架け橋となることから、在日外国人への情報提供をはじめ、その視点や影響力を活用した取組を推進する。</p> <p>また、インバウンド観光客の受入れの再開時には、感染防止対策などの情報を発信するほか、広域周遊の特典や割引などのキャンペーン事業の実施など「ONE 関西」で総力をあげて取り組む。</p>	<p>(取組の記載位置を 14 ページから 21 ページに変更し、文言を整理)</p> <p><b>インバウンド再開までの取組</b></p> <p>インバウンド観光が復活するまでは、観光インフラを守るためにも、構成府縣市や関西の交通機関等とも連携し、国内の観光需要喚起に向けた情報発信などを実施する。</p> <p>特に、日本で暮らす外国人に対する情報提供をはじめ、在日外国人の視点や影響力を活用した取組を推進する。</p> <p>また、インバウンド観光受入の再開の際には、各地で実施している感染対策などの情報も発信するほか、関西が一丸となってインセンティブ事業を実施するなど、総力をあげて取り組む。</p>